

## 参考資料（アンケート調査票）

### （１）介護保険サービス事業者実態調査

# 介護保険サービス事業者 実態調査

## 調査協力をお願い

皆様には、日頃から高齢者の福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

山形市では、令和3年3月に山形市高齢者保健福祉計画（第8期介護保険事業計画）を策定し、「自らの能力を活かしながら、住み慣れた地域でともに支え合い、健やかに生きがいを持って暮らせるまちづくり ～地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの確立～」を基本理念に、住み慣れた地域で安心して生活できる“まちづくり”を進めています。

その計画の見直しを令和5年度に予定しており、このたび介護保険サービス事業者である皆さまの状況等を把握するための実態調査を実施することとなりました。

なお、調査票にご記入いただいた内容は、個々のご回答内容が特定されないかたちで集計・分析を行います。また、調査結果を市役所ホームページに掲載して皆様にお知らせするとともに、調査結果の内容について意見交換を行う機会を設けさせていただきますので、ご多忙の折、誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和5年3月

山形市長 佐藤 孝弘

回答期限：令和5年4月14日(金)

#### 【調査票入力時の注意点】

- この調査は、法人単位で作成していただくことを基本とし、設問によってサービス種別ごとにそれぞれ入力をお願いします。
- 質問によって複数回答のものと、1つのみ回答するものがありますのでご注意ください。
- オレンジのセルには、人数、金額、年齢など数字を入力してください。
- 表内に数字がある場合は、あてはまる回答の番号をクリックしてください。
- 表以外の設問は、あてはまる選択肢をクリックしてください。（クリックされた選択肢は水色に変わります。取り消す場合は、再度、選択肢をクリックしてください。）
- ピンクのセルは自由に入力してください。
- 「その他」を選択した場合、ピンクのセルにその内容をできるだけ具体的に入力してください。

#### 【提出方法】

- ・PDF化せず、エクセルのままメールにてご送付ください。
- ・調査票のファイル名は法人名としてください。（例：社会福祉法人〇〇\_介護保険サービス事業者実態調査）
- ・エクセルでの表示上、自由回答欄の入力内容が見えなくなっても結構です。

< 法人の方の提出先 > 株式会社東北情報センター（yamagatashi-chosa@ticsca.co.jp）

※この調査は、法人単位で取りまとめのうえご提出いただきますので、調査票のファイルが届いた場合には、お手数ですが、法人のご担当の方へ転送願います。

※本調査は、山形市の委託調査事業により、株式会社東北情報センターが調査結果の集計を行います。

#### 【入力支援・提出方法等に関するお問い合わせ】

株式会社東北情報センター（山形市高齢者生活状況等調査分析業務委託受託者）

TEL：0233-29-2411 E-mail：yamagatashi-chosa@ticsca.co.jp

#### 【調査内容に関する問い合わせ先】

山形市福祉推進部長寿支援課計画推進係

TEL：023-641-1212（内線653） E-mail：choju@city.yamagata-yamagata.lg.jp

## 問1 法人の種類について

(1) 貴法人の形態は次のうちどれに該当しますか。該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

1. 株式会社                      4. 社会福祉法人                      7. その他  
2. 有限会社                      5. 社団・財団などの法人                      (  )  
3. 医療法人                      6. NPO法人

## 問2 職員について

問2は、貴法人が山形市内で提供している介護サービス等の職員についてお伺いします。

(1) 令和4年12月31日現在の職員の年齢構成をお伺いします。介護サービス等に従事する職員(注1)について、年齢階層ごとの正規雇用職員(注2)・非正規雇用職員(注3)はそれぞれ何人ですか。

以下の表に、人数(数字)のみ入力してください。

(注1)介護サービス等に従事する職員とは：

職種・役職等に関係なく、介護サービス等に従事し、賃金の支払いを受けている職員(ボランティアは含まない)です。管理者、介護事務職、調理員、栄養士、送迎運転手等を含みます。ただし、派遣労働者、委託従事者は含みません。

	年齢階層別	正規	非正規
1	20歳未満		
2	20歳～29歳未満		
3	30歳～39歳未満		
4	40歳～49歳未満		
5	50歳～59歳未満		
6	60歳～69歳未満		
7	70歳以上		

(注2)正規雇用職員：

本調査では労働時間数にかかわらず雇用期間の定めのない職員(有期契約より無期労働契約に転換した職員も含む)とします。

(注3)非正規雇用職員：

本調査では正規雇用職員以外の職員(契約職員、嘱託職員、パートタイム労働者等)とします。

また、平均年齢は何歳になりますか。

歳 (1年未満の端数は切り捨ててください。)

(2) 貴法人の『介護サービス等種別(介護予防を含みます)』ごとの事業所数及び職員数等についてお伺いします。

以下の表に、事業所数、人数(数字)のみ入力してください。

- ① 職員数(注1参照)は何人ですか。 (令和4年12月31日現在)
- ② 採用者数は何人ですか。 (令和4年1月1日から令和4年12月31日まで)
- ③ 離職者数(注4)は何人ですか。 (令和4年1月1日から令和4年12月31日まで)

(注4) 離職者:

「離職者」とは、調査対象期間中に事業所を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を含み、同一企業内での転出入者、産休・育児休暇取得中の者を除きます。

※兼務している(していた)場合は、主に従事する(していた)サービスに入力してください。

※提供していないサービスについては、空欄で構いません。

事業所数	介護サービス等種別 (介護予防も含みます)	①職員数		②採用者数		③離職者数								
		正規	非正規	正規	非正規	1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上		
						正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	
居宅サービス	1 訪問介護													
	2 訪問入浴介護													
	3 訪問看護													
	4 訪問リハビリテーション													
	5 居宅療養管理指導													
	6 通所介護													
	7 通所リハビリテーション													
	8 短期入所生活介護													
	9 短期入所療養介護													
	10 特定施設入居者生活介護													
	11 福祉用具貸与													
	12 特定福祉用具販売													
地域密着型サービス	13 定期巡回・随時対応型訪問介護看護													
	14 認知症対応型通所介護													
	15 小規模多機能型居宅介護													
	16 認知症対応型共同生活介護													
	17 地域密着型介護老人福祉施設													
	18 看護小規模多機能型居宅介護													
	19 地域密着型通所介護													
	20 地域密着型特定施設入居者生活介護													
サービス施設	21 介護老人福祉施設													
	22 介護老人保健施設													
	23 介護医療院													
総合事業	24 訪問型サービス(従前相当)													
	25 訪問型サービスA													
	26 通所型サービス(従前相当)													
	27 通所型サービスA													
その他	28 居宅介護支援													
	29 住宅型有料老人ホーム													
	30 サービス付き高齢者向け住宅													
	31 養護老人ホーム													
	32 軽費老人ホーム(ケアハウス・A型)													

(3) 貴法人の『職種』ごとの職員数等についてお伺いします。

以下の表に、人数(数字)のみ入力してください。

- ① 職員数(注1参照)は何人ですか。 (令和4年12月31日現在)
- ② 採用者数は何人ですか。 (令和4年1月1日から令和4年12月31日まで)
- ③ 離職者数(注4)は何人ですか。 (令和4年1月1日から令和4年12月31日まで)

※資格ではなく、従事している仕事(職種)により入力してください。兼務している(していた)場合は、主に従事する(していた)仕事(職種)にのみ入力してください。

職種	①職員数		②採用者数		③離職者数							
	正規	非正規	正規	非正規	1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上	
					正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規
A 訪問介護員												
B サービス提供責任者												
C 介護職員												
D 看護職員												
E 生活相談員												
F PT・OT・ST等の機能訓練指導員												
G 介護支援専門員												
H 栄養士又は管理栄養士												
I その他(事務職等)												

(4) (3)「①職員数」に入力された職員(正規・非正規含む)の労働時間・賃金等についてお伺いします。

以下の表に、各職種の平均の数字(年数、時間数、金額等)を入力してください。

- ①平均年齢を入力してください。1年未満の端数は切り捨ててください。(令和4年12月31日現在)
- ②平均勤続年数を入力してください。1年未満は0年としてください。(令和4年12月31日現在)
- ③1か月の平均労働時間を入力してください。30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。(令和4年12月31日現在)
- ④1か月の平均残業時間を入力してください。30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。(令和4年12月31日現在)
- ⑤令和4年12月分として決まって支給する給与月額(税込み)の平均金額を入力してください。
- ⑥1年間(令和4年1月～12月)の賞与、特別給与額の平均金額を入力してください。

職種	各項目の平均					⑤ きまって支給する給与月額 (円) ※賞与、残業代、深夜手当等 は除き、交通費や家族手当等 毎月決まって支給される手当 を含む賃金の月額です。	⑥ 1年間の賞与、特別給与額 (円) ※賞与、期末手当等の年間の 支給額であり、毎月支給され るものは含みません。3か月 を超えて算定されるものは含 む。
	① 年齢 (歳)	② 勤続 年数 (年)	③ 1か月 労働 時間 (時間)	④ 1か月 残業 時間 (時間)	⑤ きまって支給する給与月額 (円)		
A 訪問介護員							
B サービス提供責任者							
C 介護職員							
D 看護職員							
E 生活相談員							
F PT・OT・ST等の機能訓練指導員							
G 介護支援専門員							
H 栄養士又は管理栄養士							
I その他(事務職等)							
全体							

- (5) (3)「②採用者数」に入力された採用者はどこから入職された方ですか。  
以下の表に、人数(数字)のみ入力してください。

職 種	① 新卒者 (福祉 学科 卒)	② 新卒者 (福祉 学科 以外)	③ ハ ロ ー ワ ー ク	④ 事 業 者 介 紹	⑤ 民 間 職 業 介 紹 事 業 者	⑥ 福 祉 人 材 セ ン タ ー	⑦ 知 人 か ら の 紹 介	⑧ そ の 他  具 体 的 に ⇒	( )
A 訪問介護員									
B サービス提供責任者									
C 介護職員									
D 看護職員									
E 生活相談員									
F P T・O T・S T 等の機能訓練指導員									
G 介護支援専門員									
H 栄養士又は管理栄養士									
I その他(事務職等)									

- (6) 『職種』ごとの従業員の過不足状況はいかがですか。  
A~Iについてそれぞれ1~5の番号をクリックしてください。

職 種		大 い に 不 足	不 足	や や 不 足	適 当	過 剰
A 訪問介護員		1	2	3	4	5
B サービス提供責任者		1	2	3	4	5
C 介護職員		1	2	3	4	5
D 看護職員		1	2	3	4	5
E 生活相談員		1	2	3	4	5
F P T・O T・S T 等の機能訓練指導員		1	2	3	4	5
G 介護支援専門員		1	2	3	4	5
H 栄養士又は管理栄養士		1	2	3	4	5
I その他(事務職等)		1	2	3	4	5

- (7) 【(6)のA~Iのいずれかで「1. 大いに不足」、「2. 不足」、「3. やや不足」と回答した方】にお伺いします。  
その理由は何ですか。該当する選択肢をクリックしてください。(複数回答可)

1. 他産業に比べて、労働条件等が良くないため、採用が困難である
2. 介護業界へ人材が集まらない
3. 同業他社との人材獲得競争が激しい
4. 離職率が高い(定着率が低い)
5. 事業拡大によって必要人数が増加した
6. その他 ( )

- (8) 業務を行っている中で人手不足を感じる業務は次のうちどれですか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(複数回答可)

1. 食事介助
2. 入浴介助
3. 排泄介助
4. 配膳
5. 見守り
6. 掃除
7. 洗濯
8. 運転業務
9. レクリエーション
10. 通院外出等対応
11. 記録等書類作成
12. リネン交換
13. その他 ( )

### 問3 人材確保対策について

(1) 次の方々に対して何らかの人材確保の取り組みを行っていますか。

A～Dについてそれぞれ1～3の番号をクリックしてください。

	現在 取り組 んでいる	検討 してい る	取 組 み を 検 査 し て い る	取 組 む 予 定 は な い
A 外国人	1	2	3	
B 高齢者（65歳以上の方）	1	2	3	
C 若年者（高校・大学・専門学校からの新卒者）	1	2	3	
D 潜在介護福祉士等（介護福祉士等の資格を有していて、現在介護の職場で働いていない方）	1	2	3	

「2. 取り組みを検討している」と回答した方 → (3)へ

「3. 取り組む予定はない」と回答した方 → (4)へ

(2) 【(1)A～Dのいずれかで「1. 現在取り組んでいる」と回答した方】にお伺いします。

以下の表に、人数(数字)のみ入力してください。

①令和4年12月31日現在、何人いますか。

②今後受け入れる予定の方は何人いますか。(受け入れることが決まっている場合のみ入力してください。)

※外国人の場合、制度についてもお答えください。

	① 現在	② 予定
外国人		
高齢者		
若年者		
潜在介護福祉士等		

	① 現在	② 予定
1 EPA		
2 在留資格「介護」または「留学生」		
3 技能実習		
4 特定技能		

(3) 【(1)A. 外国人について「2. 取り組みを検討している」と回答した方】にお伺いします。

取り組みを検討するにあたり、不安に思っていることや課題はありますか。

以下の欄に、内容を自由に入力してください。

(4) 【(1)A. 外国人について「3. 取り組む予定はない」と回答した方】にお伺いします。

その理由は何ですか。

以下の欄に、内容を自由に入力してください。

(5) 離職防止や人材確保のために業務効率化や職員の負担軽減の取組として、介護ロボットやICTを導入していますか。

該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

1. 導入している ⇒ (7)へ

2. 導入していないが、導入を検討している ⇒ (7)へ

3. 導入していない ⇒ (6)へ

(6) 【(5)で「3. 導入していない」と回答した方】にお伺いします。  
その理由は何ですか。該当する選択肢をクリックしてください。(複数回答可)

1. 導入する予算がない
2. どんな種類があるか分からない
3. 技術的に使いこなせるか不安である
4. 維持管理が大変である
5. 離職防止や人材確保に効果があると思わない
6. 使いたいものがない
7. その他 (  )

(7) 介護ロボットやICT等の活用のほか、離職防止や人材確保のためにどのような対策に取り組んでいますか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(複数回答可)

1. 勤務時間の多様化
2. 精神的ストレスの緩和・相談体制の構築
3. 研修受講や資格取得への支援
4. キャリアパス制度の確立
5. 住宅手当、夜勤手当など福利厚生充実
6. 教育機関や学生等への情報発信
7. 高齢者の活躍(介護業務以外の業務の提供)等、役割分担による職員の負担軽減
8. 結婚・出産・育児によらず生涯働き続けられる職場環境の整備
9. その他 (  )

(8) 令和3年度の介護報酬改定において、職場におけるハラスメント対策として、必要な措置を講ずることを義務づけられたほか、サービス利用者等からのハラスメント(カスタマーハラスメント)防止のための方針の明確化など必要な措置を講じることも推奨されています。  
カスタマーハラスメント対策・防止のために、マニュアル等を作成していますか。  
該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

1. 作成している ⇒ (10) へ
2. 作成していないが、作成する予定である ⇒ (10) へ
3. 作成していない ⇒ (9) へ

(9) 【(8)で「3. 作成していない」と回答した方】にお伺いします。  
その理由は何ですか。該当する選択肢をクリックしてください。(複数回答可)

1. 作成する時間がない
2. 作成の仕方が分からない
3. 必要性を感じない
4. 作成してもハラスメント対策・防止等に効果があると思わない
5. その他 (  )

(10) 事業所でのハラスメント対策のため、自治体からの支援として、どのような取組が必要だと思えますか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(複数回答可)

1. ハラスメント対策に関する研修
2. マニュアル等の作成方法の情報提供
3. 他施設の事例や取組が分かる事例集
4. サービス利用者に対するハラスメント防止等に関する普及・啓発
5. その他 (  )

## 問4 事業について

- (1) 介護サービス事業等の経営状況等についてお伺いします。「介護予防」も含めてお答えください。  
 ①についてはそれぞれ1～5の番号、②については1～3の番号をクリックしてください。

※山形市内で提供しているサービス種別のみクリックしてください。

サービス種別		① 平均稼働率					② 収支		
		100% 超	75% S 100%	50% S 75%	25% S 50%	25% 未 満	黒 字	均 衡	赤 字
居宅サービス	1 訪問介護	1	2	3	4	5	1	2	3
	2 訪問入浴介護	1	2	3	4	5	1	2	3
	3 訪問看護	1	2	3	4	5	1	2	3
	4 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	1	2	3
	5 居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	1	2	3
	6 通所介護	1	2	3	4	5	1	2	3
	7 通所リハビリテーション	1	2	3	4	5	1	2	3
	8 短期入所生活介護	1	2	3	4	5	1	2	3
	9 短期入所療養介護	1	2	3	4	5	1	2	3
	10 特定施設入居者生活介護	1	2	3	4	5	1	2	3
	11 福祉用具貸与	-	-	-	-	-	1	2	3
	12 特定福祉用具販売	-	-	-	-	-	1	2	3
地域密着型サービス	13 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5	1	2	3
	14 認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5	1	2	3
	15 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	1	2	3
	16 認知症対応型共同生活介護	1	2	3	4	5	1	2	3
	17 地域密着型介護老人福祉施設	1	2	3	4	5	1	2	3
	18 看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	1	2	3
	19 地域密着型通所介護	1	2	3	4	5	1	2	3
	20 地域密着型特定施設入居者生活介護	1	2	3	4	5	1	2	3
サービス施設	21 介護老人福祉施設	1	2	3	4	5	1	2	3
	22 介護老人保健施設	1	2	3	4	5	1	2	3
	23 介護医療院	1	2	3	4	5	1	2	3
総合事業	24 訪問型サービス（従前相当）	1	2	3	4	5	1	2	3
	25 訪問型サービスA	1	2	3	4	5	1	2	3
	26 通所型サービス（従前相当）	1	2	3	4	5	1	2	3
	27 通所型サービスA	1	2	3	4	5	1	2	3
その他	28 居宅介護支援	1	2	3	4	5	1	2	3
	29 住宅型有料老人ホーム	1	2	3	4	5	1	2	3
	30 サービス付き高齢者向け住宅	1	2	3	4	5	1	2	3
	31 養護老人ホーム	1	2	3	4	5	1	2	3
	32 軽費老人ホーム(ケアハウス・A型)	1	2	3	4	5	1	2	3



## 問5 入所・入居者について

※問5は山形市内で以下の施設等のサービスを提供している法人のみご回答ください。

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1 介護老人福祉施設      | 2 介護老人保健施設         |
| 3 介護医療院         | 4 特定施設入居者生活介護      |
| 5 地域密着型介護老人福祉施設 | 6 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 7 認知症対応型共同生活介護  | 8 住宅型有料老人ホーム       |
| 9 サービス付き高齢者向け住宅 | 10 養護老人ホーム         |
| 11 軽費老人ホーム      |                    |

(1)～(6)は、貴法人が山形市内で提供しているサービス種別についてのみに人数(数字のみ)を入力してください。提供していないサービス種別については空欄で構いません。

(1) 以下の表についてお答えください。(令和4年12月31日現在)

- ① 定員数は何人ですか。
- ② 入所・入居者数は何人ですか。
- ③ ②のうち、特別養護老人ホーム(地域密着型を含む)の申込者は何人ですか。
- ④ 待機者数は何人ですか。

以下の表に、①～④それぞれ人数(数字)のみ入力してください。

施設等の種別	① 定員 数	② 入 所 者 数	③ 特 養 申 込 者 数	④ 待 機 者 数
1 介護老人福祉施設				
2 介護老人保健施設				
3 介護医療院				
4 特定施設入居者生活介護				
5 地域密着型介護老人福祉施設				
6 地域密着型特定施設入居者生活介護				
7 認知症対応型共同生活介護				
8 住宅型有料老人ホーム				
9 サービス付き高齢者向け住宅				
10 養護老人ホーム				
11 軽費老人ホーム(ケアハウス・A型)				



(2) ②の入所・入居者の要支援・要介護度別の人数についてお答えください。

以下の表に、人数(数字)のみ入力してください。

施設等の種別	要支援・要介護度別人数								
	自立	事業 対 象 者	要 支 援 1	要 支 援 2	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5
1 介護老人福祉施設									
2 介護老人保健施設									
3 介護医療院									
4 特定施設入居者生活介護									
5 地域密着型介護老人福祉施設									
6 地域密着型特定施設入居者生活介護									
7 認知症対応型共同生活介護									
8 住宅型有料老人ホーム									
9 サービス付き高齢者向け住宅									
10 養護老人ホーム									
11 軽費老人ホーム(ケアハウス・A型)									

(3) ②の入所・入居者のうち、①～⑮の医療処置を受けている人数についてお答えください。

以下の表に、人数(数字)のみ入力してください。

施設等の種別	医療処置の種類														
	① 点滴の 管理	② 中心 静脈 栄養	③ 透 析	④ ス ト ー マ の 処 置	⑤ 酸 素 療 法	⑥ レ ス ピ レ ー タ ー	⑦ 気 管 切 開 の 処 置	⑧ 疼 痛 の 看 護	⑨ 経 管 栄 養 (胃 ろう )	⑩ 経 管 栄 養 (経 鼻 )	⑪ モ ニ タ ー 測 定	⑫ 褥 瘡 の 処 置	⑬ カ テ ー テ ル	⑭ 喀 痰 吸 引	⑮ イ ン ス リ ン 注 射
1	介護老人福祉施設														
2	介護老人保健施設														
3	介護医療院														
4	特定施設入居者生活介護														
5	地域密着型介護老人福祉施設														
6	地域密着型特定施設入居者生活介護														
7	認知症対応型共同生活介護														
8	住宅型有料老人ホーム														
9	サービス付き高齢者向け住宅														
10	養護老人ホーム														
11	軽費老人ホーム(ケアハウス・A型)														

(4) ①～⑮の医療処置の受入可能な人数についてお答えください。

以下の表に、人数(数字)のみ入力してください。また、受入不可能な場合は×印を入力してください。

施設等の種別	医療処置の種類														
	① 点滴の 管理	② 中心 静脈 栄養	③ 透 析	④ ス ト ー マ の 処 置	⑤ 酸 素 療 法	⑥ レ ス ピ レ ー タ ー	⑦ 気 管 切 開 の 処 置	⑧ 疼 痛 の 看 護	⑨ 経 管 栄 養 (胃 ろう )	⑩ 経 管 栄 養 (経 鼻 )	⑪ モ ニ タ ー 測 定	⑫ 褥 瘡 の 処 置	⑬ カ テ ー テ ル	⑭ 喀 痰 吸 引	⑮ イ ン ス リ ン 注 射
1	介護老人福祉施設														
2	介護老人保健施設														
3	介護医療院														
4	特定施設入居者生活介護														
5	地域密着型介護老人福祉施設														
6	地域密着型特定施設入居者生活介護														
7	認知症対応型共同生活介護														
8	住宅型有料老人ホーム														
9	サービス付き高齢者向け住宅														
10	養護老人ホーム														
11	軽費老人ホーム(ケアハウス・A型)														

- (5) 過去1年間(令和4年1月1日～令和4年12月31日)に入所・入居した方についてお伺いします。  
現在の施設等に入所・入居する前の居場所とその人数についてお答えください。  
以下の表に、①～⑭それぞれ居場所別に入所・入居してきた人数(数字)のみ入力してください。

施設等の種別	入所・入居前の居場所													
	① 等 の 家 も 含 む )	② 自 宅 — ホ ー ム )	③ 住 宅 型 有 料 老 人 ホ ー ム )	④ サ ー ビ ス 付 き 高 齢 者 向 け 住 宅 )	⑤ 養 護 老 人 ホ ー ム )	⑥ 軽 費 老 人 ホ ー ム )	⑦ 居 宅 小 規 模 多 機 能 型 介 護 )	⑧ 生 活 認 知 症 対 応 型 共 同 介 護 )	⑨ 特 定 施 設 入 居 者 介 護 医 療 院 )	⑩ 介 護 老 人 保 健 施 設 )	⑪ 介 護 老 人 福 祉 施 設 )	⑫ 病 院 )	⑬ そ の 他 )	⑭ 把 握 し て い な い )
1	介護老人福祉施設													
2	介護老人保健施設													
3	介護医療院													
4	特定施設入居者生活介護													
5	地域密着型介護老人福祉施設													
6	地域密着型特定施設入居者生活介護													
7	認知症対応型共同生活介護													
8	住宅型有料老人ホーム													
9	サービス付き高齢者向け住宅													
10	養護老人ホーム													
11	軽費老人ホーム(ケアハウス・A型)													

- ※⑥は看護小規模多機能型居宅介護を含みます。  
※⑧⑪は地域密着型を含みます。  
※⑨は介護療養型医療施設を含みます。

- (6) 過去1年間(令和4年1月1日～令和4年12月31日)に退所・退居した方についてお伺いします。  
退所・退居後の居場所とその人数についてお答えください。  
以下の表に、①～⑮それぞれ居場所別に退所・退居先別の人数(数字)のみ入力してください。

施設等の種別	退所・退居後の居場所														
	① 等 の 家 も 含 む )	② 自 宅 — ホ ー ム )	③ 住 宅 型 有 料 老 人 ホ ー ム )	④ サ ー ビ ス 付 き 高 齢 者 向 け 住 宅 )	⑤ 養 護 老 人 ホ ー ム )	⑥ 軽 費 老 人 ホ ー ム )	⑦ 居 宅 小 規 模 多 機 能 型 介 護 )	⑧ 生 活 認 知 症 対 応 型 共 同 介 護 )	⑨ 特 定 施 設 入 居 者 介 護 医 療 院 )	⑩ 介 護 老 人 保 健 施 設 )	⑪ 介 護 老 人 福 祉 施 設 )	⑫ 病 院 )	⑬ そ の 他 )	⑭ 把 握 し て い な い )	⑮ 死 亡 )
1	介護老人福祉施設														
2	介護老人保健施設														
3	介護医療院														
4	特定施設入居者生活介護														
5	地域密着型介護老人福祉施設														
6	地域密着型特定施設入居者生活介護														
7	認知症対応型共同生活介護														
8	住宅型有料老人ホーム														
9	サービス付き高齢者向け住宅														
10	養護老人ホーム														
11	軽費老人ホーム(ケアハウス・A型)														

- ※⑥は看護小規模多機能型居宅介護を含みます。  
※⑧⑪は地域密着型を含みます。  
※⑨は介護療養型医療施設を含みます。

(7) 退居理由は何ですか。

該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

1. 必要な生活支援が発生・増大したから
2. 必要な身体介護が発生・増大したから
3. 認知症の症状が悪化したから
4. 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから
5. 1～4以外の状態が悪化したから
6. 入所・入居者の状態等が改善したから
7. 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから
8. 主な介護者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから
9. 費用負担が重くなったから
10. その他 (  )

## 問6 連携について

(1) 利用者の自立支援においてケアマネジャーとの連携状況についてどう感じていますか。

該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

1. 十分に取れている ⇒ (3) へ
2. 十分ではないが概ね取れている ⇒ (3) へ
3. あまり取れていない ⇒ (2) へ
4. 取れていない ⇒ (2) へ

(2) 【(1)で「3. あまり取れていない」「4. 取れていない」と回答した方】にお伺いします。

その理由は何ですか。該当する選択肢をクリックしてください。(2つまで)

1. ケアマネジャーと情報交換する時間が取れないまたは取りづらい
2. ケアマネジャーが忙しく連絡が取れないまたは取りづらい
3. ケアマネジャーごとに自立支援に対する理解や意識が異なる
4. ケアマネジャーの自立支援に係る知識や技術が不足している
5. その他 (  )

(3) ケアマネジャーと連携を取るうえで重要だと考える取り組みは何ですか。

該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

1. 介護保険サービス事業者等とケアマネジャー双方の職員が出席する交流会や研修会を開催する
2. 介護保険サービス事業者等に研修などで自立支援の理解を促す
3. ケアマネジャーに研修などで自立支援の理解を促す
4. ケアマネジャーに研修などで各介護保険サービスの理解を促す
5. ケアマネジャーの体制を充実する
6. ICTやSNS等を活用した情報連携
7. その他 (  )

(4) 利用者の自立に向けた支援において外部の諸機関等との連携状況についてお答えください。  
A～Tについてそれぞれ1～4の番号をクリックしてください。

	取 れ て い る	十 分 に 取 れ て い る	概 ね 取 れ て い る が	十 分 で は な い	あ ま り 取 れ て い ない	取 れ て い ない
A 地域包括支援センター	1	2	3	4		
B 居宅介護支援事業所	1	2	3	4		
C 他の介護保険サービス事業者	1	2	3	4		
D 在宅医療・介護連携室「ポビー」	1	2	3	4		
E おれんじサポートチーム	1	2	3	4		
F 障がい者相談支援事業所	1	2	3	4		
G 生活支援コーディネーター	1	2	3	4		
H 市社会福祉協議会（地域福祉部署）	1	2	3	4		
I 成年後見センター	1	2	3	4		
J 福祉まるごと相談員	1	2	3	4		
K 多機関コーディネーター	1	2	3	4		
L 子育て支援コーディネーター	1	2	3	4		
M 母子保健コーディネーター	1	2	3	4		
N 生活サポート相談窓口	1	2	3	4		
O 民生委員	1	2	3	4		
P 福祉協力員	1	2	3	4		
Q 町内会関係者	1	2	3	4		
R 市（福祉関係部署）	1	2	3	4		
S 市（保健所）	1	2	3	4		
T 警察	1	2	3	4		

(5) (4)にて、「1. 十分に取れている」または「2. 十分ではないが概ね取れている」と回答したものの  
について、連携の好事例を共有させていただくため、その具体例をお答えください。  
以下の欄に、内容を自由に入力してください。

(6) (4)にて、「3. あまり取れていない」または「4. 取れていない」と回答したものの  
について、課題を改善するため、その具体例をお答えください。  
以下の欄に、内容を自由に入力してください。

## 問7 諸機関に期待することについて

(1) 地域包括支援センターが取り組んでいることで、期待するものはどれですか。

該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

1. 困難事例に対する相談支援
2. 介護予防に関する助言・情報提供
3. ケアプラン（介護予防ケアプラン）に関する助言・情報提供
4. 社会資源（民間・インフォーマル資源など）の情報提供
5. 虐待や成年後見など権利擁護に関する助言
6. 地域包括支援センター担当圏域での情報交換・研修の場の設定
7. 地域関係者とのネットワークづくり
8. 日常的な相談支援
9. その他 ( )

(2) 在宅医療・介護連携室「ポピー」が取り組んでいることで、期待しているものはどれですか。

該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

1. 在宅医療や連携に関する相談
2. 研修・出張講座
3. ホームページによる情報発信（研修・取り組みなど紹介）
4. 在宅医療・介護サービス情報検索システムによる医療機関の検索
5. 医療・介護関係者の情報共有支援（ポピーネットやまがた）
6. 医療・介護関係者の交流会、情報交換会
7. 住民普及啓発の企画・共同実施
8. その他 ( )

(3) おれんじサポートチーム（えがお・こころ）が取り組んでいることで、期待するものはどれですか。

該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

1. 地域住民、関係者への認知症に関する理解促進
2. 認知症に関わることについて相談対応・助言
3. 認知症が疑われる方を適切な支援機関等へ結びつける
4. 認知症の状況に応じた必要なサービスの調整
5. 認知症の方とその家族の介護負担軽減を図る取り組み（認知症カフェの開催支援など）
6. 医師会や認知症サポート医、認知症疾患医療センターの専門医等とのネットワーク形成
7. ケアマネジャー等の支援者に対する認知症対応力向上のための取り組み（研修会など）
8. 認知症の方と家族を支える地域資源の情報収集・提供
9. 認知症予防に関する教室の企画・実施
10. その他 ( )

(4) 生活支援コーディネーターが取り組んでいることで、期待するものはどれですか。

該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

1. 生活支援サービス及び社会資源の把握
2. 高齢者の生活支援ニーズと地域課題の把握
3. 生活支援に関する資源開発、生活支援サービスの立ち上げ支援  
(有償ボランティア、住民主体の通いの場、居場所づくり等)
4. 住民主体の支援活動（ボランティア等）の担い手に対する養成と活動へのマッチング
5. 住民等の生活支援地域支え合いの仕組みづくりに関する住民啓発
6. 生活支援に関する関係者のネットワーク構築
7. 地縁組織等多様な主体への働きかけ
8. その他 ( )

- (5) 成年後見センターが取り組んでいることで、期待するものはどれですか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

1. 成年後見制度の利用に関する相談対応・助言
2. 成年後見制度の利用に関する申し立て手続き支援(助言・書類作成支援等)
3. 関係機関及び住民に対する成年後見制度の普及啓発
4. 成年後見センターのPR活動
5. 親族後見人や後見人初任者等の相談対応・支援
6. 市民後見人の養成
7. その他 ( )

## 問8 その他

令和3年度介護報酬改定において、令和6年4月1日より義務化される次の項目についてお伺いします。

- (1) 業務継続計画の策定、研修及び訓練等が義務化されますが、貴法人における現在の業務継続計画の策定状況について、該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

1. 策定済みである
2. 策定中である
3. まだ取り掛かっていない

- (2) 感染症の予防及びまん延の防止のための対策を検討する委員会の開催、指針の整備、研修及び訓練の実施が義務化されますが、貴法人における現在の指針の整備状況について、該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

1. 作成済みである
2. 作成中である
3. まだ取り掛かっていない

- (3) 虐待の防止のための対策を検討する委員会の開催、指針の整備、研修の実施、担当者の設置が義務化されますが、貴法人における現在の指針の整備状況について、該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

1. 作成済みである
2. 作成中である
3. まだ取り掛かっていない

- (4) 令和4年度介護報酬改定により、介護職員の収入を3%程度引き上げるための措置として介護職員等ベースアップ等支援加算が新設されましたが、貴法人において、介護職員の平均給与は、令和3年10月と令和4年10月を比較し、月額3%(9,000円)以上の改善が図られていますか。

該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

【訪問看護、訪問リハ、居宅療養管理指導、福祉用具貸与、特定福祉用具販売については回答不要】

1. 月額3%(9,000円)以上の改善が図られている
2. 月額3%(9,000円)未満の改善が図られている
3. 改善されていない

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

誤りがないかもう一度ご確認のうえ、4月14日(金)まで、メールにて提出をお願いします。

## (2) 居宅介護支援事業所アンケート調査

### 居宅介護支援事業所 アンケート調査

#### 調査協力をお願い

皆様には、日頃から高齢者の福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

山形市では、令和3年3月に山形市高齢者保健福祉計画（第8期介護保険事業計画）を策定し、「自らの能力を活かしながら、住み慣れた地域でともに支え合い、健やかに生きがいを持って暮らせるまちづくり ～地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの確立～」を基本理念に、住み慣れた地域で安心して生活できる“まちづくり”を進めています。

その計画の見直しを令和5年度に予定しており、このたび居宅介護支援事業所の皆さまから、利用者等の状況等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

なお、調査票にご記入いただいた内容は、個々のご回答内容が特定されないかたちで集計・分析を行います。また、調査結果を市役所ホームページに掲載して皆様にお知らせするとともに、調査結果の内容について意見交換を行う機会を設けさせていただきますので、どうぞ、率直なご意見やお考えをお聞かせください。

ご多忙の折、誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和5年3月

山形市長 佐藤 孝弘

回答期限：令和5年4月14日(金)

#### 【調査票入力時の注意点】

- 質問によって複数回答のものと、1つのみ回答するものがありますのでご注意ください。
- オレンジのセルには、人数、金額、年齢など数字を入力してください。
- みどりのセルには、あてはまる回答の枠をクリックしてください。（クリックされた枠に「○」が表示されます。）
- 表内に数字がある場合は、あてはまる回答の番号をクリックしてください。
- 表以外の設問は、あてはまる選択肢をクリックしてください。（クリックされた選択肢は水色に変わります。取り消す場合は、再度、選択肢をクリックしてください。）
- ピンクのセルは自由に入力してください。
- 「その他」を選択した場合、ピンクのセルにその内容をできるだけ具体的に入力してください。

#### 【提出方法】

- ・PDF化せず、エクセルのままメールにてご送付ください。
- ・調査票のファイル名は事業所名としてください。（例：○○事業所\_居宅介護支援事業所アンケート調査）
- ・エクセルでの表示上、自由回答欄の入力内容が見えなくなっても結構です。

**<提出先> 株式会社東北情報センター (yamagatashi-chosa@ticsca.co.jp)**

※本調査は、山形市の委託調査事業により、株式会社東北情報センターが調査結果の集計を行います。

#### 【入力支援・提出方法等に関するお問い合わせ】

株式会社東北情報センター（山形市高齢者生活状況等調査分析業務委託受託者）  
TEL：0233-29-2411 E-mail：yamagatashi-chosa@ticsca.co.jp

#### 【調査内容に関する問い合わせ先】

山形市福祉推進部長寿支援課計画推進係  
TEL：023-641-1212（内線653） E-mail：choju@city.yamagata-yamagata.lg.jp



## 問1 ケアマネジャーの人数について

- (1) 貴事業所のケアマネジャー数についてお伺いします。  
以下の表に、人数(数字)のみ入力してください。

	正規職員		非正規職員	
ケアマネジャー数		人		人
主任ケアマネジャー数		人		人

## 問2 利用者の状況について

問2は次の点に注意して、入力してください。

- ・利用者については第1号被保険者についてのみ入力してください。
- ・事業対象者とは、山形市介護予防・日常生活支援事業の対象となるチェックリスト該当者を指します。

- (1) 貴事業所の山形市内の利用者数について、現在の住まい、世帯構成ごとに要介護度別の人数をお伺いします。  
(令和4年12月31日現在) 以下の表に、人数(数字)のみ入力してください。

※1 いわゆる8050問題等、引きこもり状態にある子・孫とのみ同居する世帯の方の場合、入力してください。

※2 介護者が育児と親の介護を行っている世帯の場合、入力してください。

※3 高齢者向け住宅とは、有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅・軽費老人ホーム等を指します。

※4 「その他」に入力の場合は、ピンクのセルにどのような構成か(例:学生と本人のみ(ヤングケアラー)など)入力してください。

現在の住まい	世帯構成	要支援・要介護度別人数										
		事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	休止中	
一戸建て	単身											
	夫婦のみ											
	夫婦以外の高齢者のみ											
	障がいのある子と同居											
	引きこもりの子と同居(※1)											
	ダブルケア(※2)											
	その他(※4)											
集合住宅	単身											
	夫婦のみ											
	夫婦以外の高齢者のみ											
	障がいのある子と同居											
	引きこもりの子と同居(※1)											
	ダブルケア(※2)											
	その他(※4)											
高齢者向け住宅(※3)	単身											
	夫婦のみ											
	夫婦以外の高齢者のみ											
	その他(※4)											

- (2) (1)の利用者のうち、現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者は何人いますか。  
現在の住まい、世帯構成ごとに要介護度別の人数をお伺いします。  
以下の表に、人数(数字)のみ入力してください。  
なお、「その他」に入力した場合は、ピンクのセルにどのような構成か(例:学生と本人のみ(ヤングケアラー)  
など)入力してください。

現在の住まい	世帯構成	要支援・要介護度別人数										
		事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	休止中	
一戸建て	単身											
	夫婦のみ											
	夫婦以外の高齢者のみ											
	障がいのある子と同居											
	引きこもりの子と同居											
	ダブルケア											
	その他											
集合住宅	単身											
	夫婦のみ											
	夫婦以外の高齢者のみ											
	障がいのある子と同居											
	引きこもりの子と同居											
	ダブルケア											
	その他											
高齢者向け住宅	単身											
	夫婦のみ											
	夫婦以外の高齢者のみ											
	その他											

- (3) (2)の生活の維持が難しくなっている方は、それぞれどのような介護保険サービスがあれば在宅生活を続けられると思いますか。  
以下の表に、要介護度別に必要と思われるサービスをクリックしてください。(複数回答可)

要介護度別	介護サービスの種類													
	① 訪問介護 (含む)	② (介護予防) 訪問入浴介護	③ (介護予防) 訪問看護	④ (介護予防) 訪問リハビリ	⑤ (介護予防) 居宅療養管理 指導	⑥ 通所介護 (地域密着、通所 型サービス含む)	⑦ (介護予防) 通所リハビリ	⑧ 介護 (介護予防) 短期入所生活	⑨ (介護予防) 短期入所療養	⑩ 定期巡回・随時 対応型訪問	⑪ 夜間対応型訪問 介護	⑫ 通所介護 (介護予防) 認知症対応型	⑬ (介護予防) 小規模多機能	⑭ 看護小規模多機能 型居宅介護
1 事業対象者														
2 要支援1・2														
3 要介護1・2														
4 要介護3～5														

- (4) (2)の生活の維持が難しくなっている方は、それぞれどのような生活支援サービスがあれば在宅生活を続けられると思いますか。

以下の表に、要介護度別に必要と思われるサービスをクリックしてください。(複数回答可)

要介護度別	生活支援サービスの種類										
	① 配食	② 調理	③ 掃除・洗濯	④ 買い物 (宅配は含まない)	⑤ ゴミ出し	⑥ 外出同行 (通院、買い物など)	⑦ 移送サービス (福祉タクシー等)	⑧ 見守り・声かけ	⑨ サロンの 定期的な 通い	⑩ その他	⑪ 特 に な い
1 事業対象者											
2 要支援1・2											
3 要介護1・2											
4 要介護3～5											

【「⑩その他」に入力の場合】具体的に入力してください。

- (5) (2)で生活の維持が難しくなっていると回答した主な理由は何ですか。

①～③それぞれ該当する選択肢をクリックしてください。(複数回答可)

①本人の状態等

1. 必要な生活支援の発生・増大 → (6) ①もお答えください  
 2. 必要な身体介護の発生・増大 → (6) ②もお答えください  
 3. 認知症状の悪化 → (6) ③もお答えください  
 4. 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり → (6) ④もお答えください  
 5. その他 (  )

②本人の意向等

1. 本人が一部の居宅サービスの利用を望まないから  
 2. 生活の不安が大きくなっているから  
 3. 居住環境が不便だから  
 4. 本人が介護者の負担の軽減を望んでいるから  
 5. 費用負担が大きいため  
 6. その他 (  )

③介護者の意向・負担等

1. 介護に係る不安・負担の増大  
 2. 介護者が一部の居宅サービスの利用を望まないから  
 3. 介護者の介護技術では対応が困難になってきたから  
 4. 費用負担が重いから  
 5. 介護者の就労継続が困難になり始めたから  
 6. 本人と介護者の関係性の悪化  
 7. その他 (  )

(6) 【(5)①本人の状態等で「1. 必要な生活支援の発生・増大」と回答した方】にお伺いします。

①増大している生活支援は次のうちどれですか。

該当する選択肢をクリックしてください。(複数回答可)

1. 食事の準備 (調理等)
2. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)
3. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
4. その他 ( )

【(5)①本人の状態等で「2. 必要な身体介護の発生・増大」と回答した方】にお伺いします。

②増大している身体介護は次のうちどれですか。

該当する選択肢をクリックしてください。(複数回答可)

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助 (食べる時)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ (洗顔、歯磨き等)
6. 衣服の着脱
7. 屋内での移乗・移動
8. 外出での付き添い、送迎等
9. 服薬
10. その他 ( )

【(5)①本人の状態等で「3. 認知症状の悪化」と回答した方】にお伺いします。

③理由となる、具体的な「認知症の症状」は次のうちどれですか。

該当する選択肢をクリックしてください。(複数回答可)

1. 家事に支障がある
2. 一人での外出が困難
3. 薬の飲み忘れ
4. 金銭管理が困難
5. 意欲の低下
6. 徘徊がある
7. 暴言・暴力などがある
8. 強い介護拒否がある
9. 深夜の対応
10. 近隣住民等とのトラブル
11. その他 ( )

【(5)①本人の状態等で「4. 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」と回答した方】にお伺いします。

④具体的な医療的ケア・医療処置は次のうちどれですか。

該当する選択肢をクリックしてください。(複数回答可)

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 点滴の管理   | 9. 経管栄養     |
| 2. 中心静脈栄養  | 10. モニター測定  |
| 3. 透析      | 11. 褥瘡の処置   |
| 4. ストーマの処置 | 12. カテーテル   |
| 5. 酸素療法    | 13. 喀痰吸引    |
| 6. レスビレーター | 14. インスリン注射 |
| 7. 気管切開の処置 | 15. その他 ( ) |
| 8. 疼痛の看護   |             |

(7) (1) 貴事業所の山形市内の利用者のうち、

①特養入所の申込している人は何人いますか。

②①のうち、貴事業所の視点からも緊急性が高いと思われる人は何人いますか。

現在の住まい、世帯構成ごとに要介護度別の人数をお伺いします。

以下の表に、人数(数字)のみ入力してください。

まお、「その他」に入力の場合は、ピンクのセルにどのような構成か(例:学生と本人のみ(ヤングケアラー) など)入力してください。

現在の住まい	世帯構成	①申込者数			②入所が望ましい人数		
		要介護3	要介護4	要介護5	要介護3	要介護4	要介護5
一戸建て	単身						
	夫婦のみ						
	夫婦以外の高齢者のみ						
	障がいのある子と同居						
	引きこもりの子と同居						
	ダブルケア						
その他							
集合住宅	単身						
	夫婦のみ						
	夫婦以外の高齢者のみ						
	障がいのある子と同居						
	引きこもりの子と同居						
	ダブルケア						
その他							
高齢者向け住宅	単身						
	夫婦のみ						
	夫婦以外の高齢者のみ						
	その他						

(8) 昨年1年間(令和4年1月1日から令和4年12月31日まで)で、高齢者向け住宅に入居した方は何人いますか。

現在の住まい、世帯構成ごとに要介護度別の人数をお伺いします。

以下の表に、人数(数字)のみ入力してください。

なお、「その他」に入力の場合は、ピンクのセルにどのような構成か(例:学生と本人のみ(ヤングケアラー) など)入力してください。

現在の住まい	世帯構成	事業対象者		要支援1~2		要介護1~2		要介護3~5	
		男	女	男	女	男	女	男	女
一戸建て	単身								
	夫婦のみ								
	夫婦以外の高齢者のみ								
	障がいのある子と同居								
	引きこもりの子と同居								
	ダブルケア								
その他									
集合住宅	単身								
	夫婦のみ								
	夫婦以外の高齢者のみ								
	障がいのある子と同居								
	引きこもりの子と同居								
	ダブルケア								
その他									
高齢者向け住宅	単身								
	夫婦のみ								
	夫婦以外の高齢者のみ								
	その他								

(9) (8)について、高齢者向け住宅への入居理由は何ですか。

①～③それぞれ該当する選択肢をクリックしてください。(複数回答可)

①本人の状態等

- 1. 必要な生活支援の発生・増大
- 2. 必要な身体介護の発生・増大
- 3. 認知症状の悪化
- 4. 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり
- 5. その他 (  )

②本人の意向等

- 1. 本人が一部の居宅サービスの利用を望まないから
- 2. 生活の不安が大きくなっているから
- 3. 居住環境が不便だから
- 4. 本人が介護者の負担の軽減を望んでいるから
- 5. 費用負担が大きいため
- 6. その他 (  )

③介護者の意向・負担等

- 1. 介護に係る不安・負担の増大
- 2. 介護者が一部の居宅サービスの利用を望まないから
- 3. 介護者の介護技術では対応が困難になってきたから
- 4. 費用負担が重いから
- 5. 介護者の就労継続が困難になり始めたから
- 6. 本人と介護者の関係性の悪化
- 7. その他 (  )

(10) 令和4年1月1日から令和4年12月31日の間で、その方の看取りに関わった利用者は何人いましたか。

以下の枠に、人数(数字)のみ入力してください。

人

(11) そのうち、自宅で看取りとなった利用者は何人いましたか。

以下の枠に、人数(数字)のみ入力してください。

人

### 問3 認知症施策について

- (1) 認知症の早期発見・早期対応のため、取り組んでいることについてお伺いします。  
該当する選択肢をクリックしてください。(複数回答可)

1. おれんじサポートチームへ相談している
2. かかりつけ医への受診をすすめている(または同行している)
3. 認知症の早期発見のめやすなどチェックツールを活用している(または紹介している)
4. 認知症の早期発見、早期対応の大切さを伝えている
5. 認知症サポーター養成講座を開催している
6. 認知症カフェ等の支援を紹介している
7. 職員知識向上の取り組みをしている
8. その他 ( )

- (2) 貴事業所の山形市内の利用者のうち、認知症が疑われる方への対応についてお伺いします。  
(令和4年1月1日～令和4年12月31日実績人数をお答えください。)  
以下の枠に、人数(数字)のみ入力してください。

1. 認知症が疑われる高齢者は何人いましたか。  人
2. 1のうち、かかりつけ医への相談につながったのは何人いましたか。  人
3. 2のうち、専門医療機関(※)への相談につながったのは何人いましたか。  人
4. 2のうち、専門医療機関(※)の相談につながらなかった理由は何ですか。

以下の欄に、内容を自由に入力してください。

(※) 認知症疾患医療センターなど

- (3) 認知症の早期発見・早期対応のための施策として、どのような取り組みが重要だと思いますか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

1. おれんじサポートチーム(えがお・こころ)による初期集中支援
2. 認知症サポートブック(ケアパス)の活用・普及
3. 認知症カフェなどの居場所
4. 地域包括支援センターや認知症地域支援推進員による医療・介護・地域の連携支援
5. 専門医療機関との連携
6. 認知症サポーター・キャラバンメイトの養成と活動への支援
7. 認知症に関する正しい知識の普及
8. 若年性認知症の理解促進
9. その他 ( )

#### 問4 連携について

- (1) 利用者の安全・安心のため、医院との日常的なやりとりはどの程度ありますか。  
該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

- 1. 診療所（医院）とのやりとりは十分に行えている
- 2. 診療所（医院）とのやりとりは十分ではないが概ね行えている
- 3. 診療所（医院）とのやりとりはあまり行えていない ⇒ (2) へ
- 4. 診療所（医院）とのやりとりは行えていない ⇒ (2) へ

- (2) 【(1)で「3. あまり行えていない」、「4. 行えていない」と回答した方】にお伺いします。  
その理由は何ですか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(上位2つまで)

- 1. 診療所（医院）が協力的でない
- 2. 診療所（医院）の介護保険制度に対する理解が少ない
- 3. 診療所（医院）ごとの連携の対応が異なる
- 4. 居宅介護支援事業所の医療的な知識が不足している
- 5. その他 ( )

- (3) 利用者の安全・安心のため病院との日常的なやりとりはどの程度ありますか。  
該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

- 1. 病院とのやりとりは十分に行えている
- 2. 病院とのやりとりは十分ではないが概ね行えている
- 3. 病院とのやりとりはあまり行えていない ⇒ (4) へ
- 4. 病院とのやりとりは行えていない ⇒ (4) へ

- (4) 【(3)で「3. あまり行えていない」、「4. 行えていない」と回答した方】にお伺いします。  
その理由は何ですか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(上位2つまで)

- 1. 病院が協力的でない
- 2. 病院の介護保険制度に対する理解が少ない
- 3. 病院ごとの連携部署の対応が異なる
- 4. 居宅介護支援事業所の医療的な知識が不足している
- 5. その他 ( )

- (5) 利用者の安全・安心のため薬局との日常的なやりとりはどの程度ありますか。  
該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

- 1. 薬局とのやりとりは十分に行えている
- 2. 薬局とのやりとりは十分ではないが概ね行えている
- 3. 薬局とのやりとりはあまり行えていない ⇒ (6) へ
- 4. 薬局とのやりとりは行えていない ⇒ (6) へ

- (6) 【(5)で「3. あまり行えていない」、「4. 行えていない」と回答した方】にお伺いします。  
その理由は何ですか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(上位2つまで)

- 1. 薬局が協力的でない
- 2. 薬局の介護保険制度に対する理解が少ない
- 3. 薬局ごとの連携の対応が異なる
- 4. 居宅介護支援事業所の医療的な知識が不足している
- 5. その他 ( )



(7) 上記の機関(医療機関)と連携を取るうえで重要だと考える取り組みは何ですか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(上位2つまで)

- 1. 医療・介護双方の職員が出席する交流会や研修会を開催する
- 2. 医療スタッフに研修などで高齢者福祉・介護保険制度の理解を促す
- 3. 介護スタッフに研修などで医療保険制度の理解を促す
- 4. 退院時カンファレンスの開催促進
- 5. 入退院支援に関するルールを活用
- 6. 往診・訪問診療・訪問看護・訪問薬剤の体制を充実する
- 7. 医療・介護双方の人生会議(ACP)の理解促進
- 8. ICTやSNS等を活用した情報連携
- 9. その他 ( )

(8) 利用者の自立に向けた支援における外部の諸機関等との連携状況についてお伺いします。  
A～Sについてそれぞれ1～4の番号をクリックしてください。

	十分 に取 れて いる	概 ね十 分に 取れ ては ない が概	あ まり 取れ てい ない	取 れて い ない
A 地域包括支援センター	1	2	3	4
B 他の介護保険サービス事業者	1	2	3	4
C 在宅医療・介護連携室「ポビー」	1	2	3	4
D おれんじサポートチーム	1	2	3	4
E 障がい者相談支援事業所	1	2	3	4
F 生活支援コーディネーター	1	2	3	4
G 多機関コーディネーター	1	2	3	4
H 子育て支援コーディネーター	1	2	3	4
I 母子保健コーディネーター	1	2	3	4
J 市社会福祉協議会(地域福祉部署)	1	2	3	4
K 成年後見センター	1	2	3	4
L 福祉まるごと相談員	1	2	3	4
M 生活サポート相談窓口	1	2	3	4
N 民生委員	1	2	3	4
O 町内会関係者	1	2	3	4
P 福祉協力員	1	2	3	4
Q 市(福祉関係部署)	1	2	3	4
R 市(保健所)	1	2	3	4
S 警察	1	2	3	4

(9) (8)にて、「1. 十分に取れている」または「2. 十分ではないが概ね取れている」と回答したものの  
について、連携の好事例を共有させていただくため、その具体例をお答えください。  
以下の欄に、内容を自由に入力してください。

(10) (8)にて、「3. あまり取れていない」または「4. 取れていない」と回答したものの  
について、課題を改善するため、その具体例をお答えください。  
以下の欄に、内容を自由に入力してください。

## 問5 諸機関に期待することについて

(1) 地域包括支援センターが取り組んでいることで、期待するものはどれですか。

該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

1. 困難事例に対する相談支援
2. 介護予防に関する助言・情報提供
3. ケアプラン(介護予防ケアプラン)に関する助言・情報提供
4. 社会資源(民間・インフォーマル資源など)の情報提供
5. 虐待や成年後見など権利擁護に関する助言
6. 地域包括支援センター担当圏域での情報交換・研修の場の設定
7. 地域関係者とのネットワークづくり
8. 日常的な相談支援
9. その他 ( )

(2) 在宅医療・介護連携室「ポピー」が取り組んでいることで、期待しているものはどれですか。

該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

1. 在宅医療や連携に関する相談
2. 研修・出張講座
3. ホームページによる情報発信(研修・取り組みなど紹介)
4. 在宅医療・介護サービス情報検索システムによる医療機関の検索
5. 医療・介護関係者の情報共有支援(ポピーねっとやまがた)
6. 医療・介護関係者の交流会、情報交換会
7. 住民普及啓発の企画・共同実施
8. その他 ( )

(3) おれんじサポートチーム(えがお・こころ)が取り組んでいることで、期待するものはどれですか。

該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

1. 地域住民、関係者への認知症に関する理解促進
2. 認知症に関わることについて相談対応・助言
3. 認知症が疑われる方を適切な支援機関等へ結びつける
4. 認知症の状況に応じた必要なサービスの調整
5. 認知症の方とその家族の介護負担軽減を図る取り組み(認知症カフェの開催支援など)
6. 医師会や認知症サポート医、認知症疾患医療センターの専門医等とのネットワーク形成
7. ケアマネジャー等の支援者に対する認知症対応力向上のための取り組み(研修会など)
8. 認知症の方と家族を支える地域資源の情報収集・提供
9. 認知症予防に関する教室の企画・実施
10. その他 ( )

(4) 生活支援コーディネーターが取り組んでいることで、期待するものはどれですか。

該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

1. 生活支援サービス及び社会資源の把握
2. 高齢者の生活支援ニーズと地域課題の把握
3. 生活支援に関する資源開発、生活支援サービスの立ち上げ支援  
(有償ボランティア、住民主体の通いの場、居場所づくり等)
4. 住民主体の支援活動(ボランティア等)の担い手の養成と活動へのマッチング
5. 住民等の生活支援地域支え合いの仕組みづくりに関する住民啓発
6. 生活支援に関する関係者のネットワーク構築
7. 地縁組織等多様な主体への働きかけ
8. その他 ( )

- (5) 成年後見センターが取り組んでいることで、期待するものはどれですか。  
 該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

- 1. 成年後見制度の利用に関する相談対応・助言
- 2. 成年後見制度の利用に関する申し立て手続き支援（助言・書類作成支援等）
- 3. 関係機関及び住民に対する成年後見制度の普及啓発
- 4. 成年後見センターのPR活動
- 5. 親族後見人や後見人初任者等の相談対応・支援
- 6. 市民後見人の養成
- 7. その他 (  )

**問6 その他**

- (1) 民間企業や地域の活動団体と連携し、高齢者の役割がある形での社会参加等を促進することについて、必要性を感じますか。また、その理由を教えてください。  
 該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。また、以下の欄に、理由を自由に入力してください。

- 1. 強く必要性を感じている
- 2. 必要性を感じている
- 3. あまり必要性を感じていない
- 4. 必要性を感じていない

(理由を入力してください)

- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業についてどの程度理解していますか。  
 A～Cについてそれぞれ1～4の番号をクリックしてください。

	い る	十 分 に 理 解 し て	概 十 分 理 解 し て い が る	い あ ま り 理 解 し て	理 解 し て い な い
A 介護予防・日常生活支援総合事業の理念や目的	1	2	3	4	
B 介護予防・生活支援サービス事業 (訪問・通所サービスの従前・A・B・Cなど)の事業内容	1	2	3	4	
C 住民主体の通いの場など一般介護予防事業の事業内容	1	2	3	4	

- (3) 令和3年度介護報酬改定において、令和6年4月1日より義務化される項目についてお伺いします。  
 ①業務継続計画の策定、研修及び訓練等が義務化されますが、貴事業所等における現在の業務継続計画の策定状況について、該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

- 1. 策定済みである
- 2. 策定中である
- 3. まだ取り掛かっていない

- ②感染症の予防及びまん延防止のための対策を検討する委員会の開催、指針の整備、研修及び訓練の実施が義務化されますが、貴事業所等における現在の指針の整備状況について、該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

- 1. 作成済みである
- 2. 作成中である
- 3. まだ取り掛かっていない

③虐待の防止のための対策を検討する委員会の開催、指針の整備、研修の実施、担当者の設置が義務化されますが、貴事業所等における現在の指針の整備状況について、該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

1. 作成済みである

2. 作成中である

3. まだ取り掛かっていない

(4) 在宅生活・在宅介護を支えていくために、ご意見・ご提案がありましたら、自由に入力してください。



調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

誤りがないがもう一度ご確認のうえ、4月14日(金)まで、メールにて提出をお願いします。

### (3) 地域包括支援センターアンケート調査票

## 地域包括支援センター アンケート調査票

### 調査協力をお願い

皆様には、日頃から高齢者の福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

山形市では、令和3年3月に山形市高齢者保健福祉計画（第8期介護保険事業計画）を策定し、「自らの能力を活かしながら、住み慣れた地域でともに支え合い、健やかに生きがいを持って暮らせるまちづくり～地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの確立～」を基本理念に、住み慣れた地域で安心して生活できる“まちづくり”を進めています。

その計画の見直しを令和5年度に予定しており、このたび地域包括支援センターの皆様の状況等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。ご多忙の折、誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和5年3月

山形市長 佐藤 孝弘

回答期限：令和5年4月14日（金）

#### 【調査票入力時の注意点】

- 質問によって複数回答のものと、1つのみ回答するものがありますのでご注意ください。
- オレンジのセルには、人数、金額、年齢など数字を入力してください。
- 表内に数字がある場合は、あてはまる回答の番号をクリックしてください。
- 表以外の設問は、あてはまる選択肢をクリックしてください。（クリックされた選択肢は水色に変わります。取り消す場合は、再度、選択肢をクリックしてください。）
- ピンクのセルは自由に入力してください。
- 「その他」を選択した場合、ピンクのセルにその内容をできるだけ具体的に入力してください。

#### 【提出方法】

- ・ PDF化せず、エクセルのままメールにてご送付ください。
- ・ 調査票のファイル名は地域包括支援センター名としてください。  
(例：○○地域包括支援センター\_地域包括支援センターアンケート調査)
- ・ エクセルでの表示上、自由回答欄の入力内容が見えなくなっても結構です。

<提出先> **株式会社東北情報センター**  
(yamagatashi-chosa@ticsca.co.jp)

※本調査は、山形市の委託調査事業により、株式会社東北情報センターが調査結果の集計を行います。

#### 【入力支援・提出方法等に関するお問い合わせ】

株式会社東北情報センター（山形市高齢者生活状況等調査分析業務委託受託者）  
TEL：0233-29-2411 E-mail：yamagatashi-chosa@ticsca.co.jp

#### 【調査内容に関するお問い合わせ】

山形市福祉推進部長寿支援課計画推進係  
TEL：023-641-1212（内線653） E-mail：choju@city.yamagata-yamagata.lg.jp

**問1 介護サービス等の提供体制について**

(1) 在宅生活を継続するために必要なサービスを「介護予防」も含めてお伺いします。  
サービス番号とその理由を入力してください。(上位3つまで)

1. 訪問介護（訪問型サービスを含む） 2. (介護予防)訪問入浴介護 3. (介護予防)訪問看護 4. (介護予防)訪問リハビリテーション 5. (介護予防)居宅療養管理指導 6. 通所介護（地域密着型、通所型サービスを含む） 7. (介護予防)通所リハビリテーション 8. (介護予防)短期入所生活介護 9. (介護予防)短期入所療養介護 10. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 11. 夜間対応型訪問介護 12. (介護予防)認知症対応型通所介護 13. (介護予防)小規模多機能型居宅介護 14. 看護小規模多機能型居宅介護	サービス番号	<input type="text"/>
	理由	<input type="text"/>
	サービス番号	<input type="text"/>
	理由	<input type="text"/>
	サービス番号	<input type="text"/>
	理由	<input type="text"/>

**問2 認知症施策について**

(1) 認知症の早期発見・早期対応のため、取り組んでいることについてお伺いします。  
該当する選択肢をクリックしてください。(複数回答可)

1. おれんじサポートチームへ相談している  
 2. かかりつけ医への受診をすすめている（または同行している）  
 3. 認知症の早期発見のめやすなどチェックツールを活用している（または紹介している）  
 4. 認知症の早期発見、早期対応の大切さを伝えている  
 5. 認知症サポーター養成講座を開催している  
 6. 認知症カフェ等の支援を紹介している  
 7. 職員の知識向上の取り組みをしている  
 8. その他 (  )

(2) 予防プランを立てている方のうち、認知症が疑われる方への対応についてお伺いします。

(令和4年1月1日～令和4年12月31日実績人数をお答えください。)

以下の枠に、人数(数字)のみ入力してください。

- |                                   |                      |   |
|-----------------------------------|----------------------|---|
| 1. 認知症が疑われる高齢者は何人いましたか            | <input type="text"/> | 人 |
| 2. 1のうち、かかりつけ医への相談につながったのは何人いましたか | <input type="text"/> | 人 |
| 3. 2のうち、専門医療機関への相談につながったのは何人いましたか | <input type="text"/> | 人 |
| 4. 2のうち、専門医療機関の相談につながらなかった理由は何ですか |                      |   |

以下の欄に、内容を自由に入力してください。

(3) 認知症の早期発見・早期対応のための施策として、どのような取り組みが重要だと思いますか。

該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

- |  |                          |
|--|--------------------------|
| 1. おれんじサポートチーム(えがお・こころ)による初期集中支援         | <input type="checkbox"/> |
| 2. 認知症サポートブック(ケアパス)の活用・普及                | <input type="checkbox"/> |
| 3. 認知症カフェなどの居場所                          | <input type="checkbox"/> |
| 4. 地域包括支援センターや認知症地域支援推進員による医療・介護・地域の連携支援 | <input type="checkbox"/> |
| 5. 専門医療機関との連携                            | <input type="checkbox"/> |
| 6. 認知症サポーター・キャラバンメイトの養成と活動への支援           | <input type="checkbox"/> |
| 7. 認知症に関する正しい知識の普及                       | <input type="checkbox"/> |
| 8. 若年性認知症の理解促進                           | <input type="checkbox"/> |
| 9. その他 ( <input type="text"/> )          | <input type="checkbox"/> |

### 問3 連携について

- (1) 利用者の安全・安心のため、医院との日常的なやりとりはどの程度ありますか。  
該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

- 1. 診療所（医院）とのやりとりは十分に行えている
- 2. 診療所（医院）とのやりとりは十分ではないが行えている
- 3. 診療所（医院）とのやりとりはあまり行えてない ⇒ (2) へ
- 4. 診療所（医院）とのやりとりは行えていない ⇒ (2) へ

- (2) 【(1)で「3. あまり行えていない」、「4. 行えていない」と回答した方】にお伺いします。  
その理由は何ですか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(上位2つまで)

- 1. 診療所（医院）が協力的でない
- 2. 診療所（医院）の介護保険制度に対する理解が少ない
- 3. 診療所（医院）ごとの連携の対応が異なる
- 4. 地域包括支援センター職員の医療的な知識が不足している
- 5. その他 ( )

- (3) 利用者の安全・安心のため病院との日常的なやりとりはどの程度ありますか。  
該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

- 1. 病院とのやりとりは十分に行えている
- 2. 病院とのやりとりは十分ではないが行えている
- 3. 病院とのやりとりはあまり行えてない ⇒ (4) へ
- 4. 病院とのやりとりは行えていない ⇒ (4) へ

- (4) 【(3)で「3. あまり行えていない」、「4. 行えていない」と回答した方】にお伺いします。  
その理由は何ですか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(上位2つまで)

- 1. 病院が協力的でない
- 2. 病院の介護保険制度に対する理解が少ない
- 3. 病院ごとの連携部署の対応が異なる
- 4. 地域包括支援センター職員の医療的な知識が不足している
- 5. その他 ( )

- (5) 利用者の安全・安心のため薬局との日常的なやりとりはどの程度ありますか。  
該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

- 1. 薬局とのやりとりは十分に行えている
- 2. 薬局とのやりとりは十分ではないが行えている
- 3. 薬局とのやりとりはあまり行えてない ⇒ (6) へ
- 4. 薬局とのやりとりは行えていない ⇒ (6) へ

- (6) 【(5)で「3. あまり行えていない」、「4. 行えていない」と回答した方】にお伺いします。  
その理由は何ですか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(上位2つまで)

- 1. 薬局が協力的でない
- 2. 薬局の介護保険制度に対する理解が少ない
- 3. 薬局ごとの連携の対応が異なる
- 4. 地域包括支援センター職員の医療的な知識が不足している
- 5. その他 ( )



(7) 今後、上記の機関(医療機関)と連携を取るうえで重要だと考える取り組みは何ですか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(上位2つまで)

- 1. 医療・介護双方の職員が出席する交流会や研修会を開催する
- 2. 医療スタッフに研修などで高齢者福祉・介護保険制度の理解を促す
- 3. 介護スタッフに研修などで医療保険制度の理解を促す
- 4. 退院時カンファレンスの開催促進
- 5. 入退院支援に関するルールを活用
- 6. 往診・訪問診療・訪問看護・訪問薬剤の体制を充実する
- 7. 医療・介護双方の人生会議(ACP)の理解促進
- 8. ICTやSNS等を活用した情報連携
- 9. その他 ( )

(8) 利用者の自立に向けた支援における、外部の諸機関等との連携状況についてお伺いします。  
A～Sについてそれぞれ1～4の番号をクリックしてください。

	十分に取れている	概ね取れている	あまり取れていない	取れていない
A 居宅介護支援事業所	1	2	3	4
B 介護保険サービス事業者	1	2	3	4
C 在宅・医療介護連携室「ポビー」	1	2	3	4
D おれんじサポートチーム	1	2	3	4
E 障がい者相談支援事業所	1	2	3	4
F 生活支援コーディネーター	1	2	3	4
G 子育て支援コーディネーター	1	2	3	4
H 母子保健コーディネーター	1	2	3	4
I 市社会福祉協議会(地域福祉部署)	1	2	3	4
J 成年後見センター	1	2	3	4
K 福祉まるごと相談員	1	2	3	4
L 多機関コーディネーター	1	2	3	4
M 生活サポート相談窓口	1	2	3	4
N 民生委員	1	2	3	4
O 町内会関係者	1	2	3	4
P 福祉協力員	1	2	3	4
Q 市(福祉関係部署)	1	2	3	4
R 市(保健所)	1	2	3	4
S 警察	1	2	3	4

(9) (8)にて、「1.十分に取れている」または「2.十分ではないが概ね取れている」と回答したものについて、連携の好事例を共有させていただくため、その具体例をお答えください。  
以下の欄に、内容を自由に入力してください。

(10) (8)にて、「3.あまり取れていない」または「4.取れていない」と回答したものについて、課題を改善するため、その具体例をお答えください。  
以下の欄に、内容を自由に入力してください。

#### 問4 諸機関に期待することについて

- (1) 在宅医療・介護連携室「ポピー」が取り組んでいることで、期待するものはどれですか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

1. 在宅医療や連携に関する相談
2. 研修・出張講座
3. ホームページによる情報発信(研修・取り組みなど紹介)
4. 在宅医療・介護サービス情報検索システムによる医療機関の検索
5. 医療・介護関係者の情報共有支援(ポピーねっとやまがた)
6. 医療・介護関係者の交流会、情報交換会
7. 住民普及啓発の企画・共同実施
8. その他 ( )

- (2) おれんじサポートチーム(えがお・こころ)が取り組んでいることで、期待するものはどれですか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

1. 地域住民、関係者への認知症に関する理解促進
2. 認知症に関わるごとについて相談対応・助言
3. 認知症が疑われる方を適切な支援機関等へ結びつける
4. 認知症の状況に応じた必要なサービスの調整
5. 認知症の方とその家族の介護負担軽減を図る取り組み(認知症カフェの開催支援など)
6. 医師会や認知症サポート医、認知症疾患医療センターの専門医等とのネットワーク形成
7. ケアマネジャー等の支援者に対する認知症対応力向上のための取り組み(研修会など)
8. 認知症の方と家族を支える地域資源の情報収集・提供
9. 認知症予防に関する教室の企画・実施
10. その他 ( )

- (3) 生活支援コーディネーターが取り組んでいることで、期待するものはどれですか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

1. 生活支援サービス及び社会資源の把握
2. 高齢者の生活支援ニーズと地域課題の把握
3. 生活支援に関する資源開発、生活支援サービスの立ち上げ支援
4. 住民主体の支援活動(ボランティア等)の担い手に対する養成と活動へのマッチング
5. 住民等の生活支援地域支え合いの仕組みづくりに関する住民啓発
6. 生活支援に関する関係者のネットワーク構築
7. 地縁組織等多様な主体への働きかけ
8. その他 ( )

- (4) 成年後見センターが取り組んでいることで、期待するものはどれですか。  
該当する選択肢をクリックしてください。(上位3つまで)

1. 成年後見制度の利用に関する相談対応・助言
2. 成年後見制度の利用に関する申し立て手続き支援(助言・書類作成支援等)
3. 関係機関及び住民に対する成年後見制度の普及啓発
4. 成年後見センターのPR活動
5. 親族後見人や後見人初任者等の相談対応・支援
6. 市民後見人の養成
7. その他 ( )

(5) 在宅生活・在宅介護を支えていくために、ご意見・ご提案がありましたら、自由に入力してください。



## 問5 その他

- (1) 民間企業や地域の活動団体と連携し、高齢者の役割がある形での社会参加等を促進することについて、必要性を感じますか。また、その理由を教えてください。

該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。また、以下の欄に、理由を自由に入力してください。

- 1. 強く必要性を感じている
- 2. 必要性を感じている
- 3. あまり必要性を感じていない
- 4. 必要性を感じていない

(理由を入力してください)

- (2) 令和3年度介護報酬改定において、介護予防支援事業者として令和6年4月1日より義務化される事項についてお伺いします。

①業務継続計画の策定、研修及び訓練等が義務化されますが、貴事業所における現在の業務継続計画の策定状況について、該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

- 1. 策定済みである
- 2. 策定中である
- 3. まだ取り掛かっていない

②感染症の予防及びまん延の防止のための対策を検討する委員会の開催、指針の整備、研修及び訓練の実施が義務化されますが、貴事業所における現在の指針の整備状況について該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

- 1. 作成済みである
- 2. 作成中である
- 3. まだ取り掛かっていない

③虐待の防止のための対策を検討する委員会の開催、指針の整備、研修の実施、担当者設置が義務化されますが、貴事業所における現在の指針の整備状況について、該当する選択肢を1つ選んでクリックしてください。

- 1. 作成済みである
- 2. 作成中である
- 3. まだ取り掛かっていない

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

誤りがないがもう一度ご確認のうえ、4月14日(金)まで、メールにて提出をお願いします。